

《 6月16日～30日の国内外外国為替市場動向 》

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
07/06/18 (月)	東京の主要通貨は揉み合い。ただNZドルは中銀の介入などもあり荒れ模様の相場付き。対円でも波乱。欧米は弱い米住宅指数にもかかわらず米利回りが上昇しドルの支援材料に。またスイスが小じっかり。	・NZ中銀が早朝にNZドル売り・米ドル買いの市場介入動意 ・6月月例経済報告「基調判断は据え置き」 ・6月の米HAHB住宅市場指数28	・NZ当局筋「中銀は再度行動する準備がある」 ・日銀総裁「政府と日銀で認識の違いはない」 ・スイス中銀総裁「スイス下落を引き続き警戒」	123.49 123.76 123.32 123.67	165.33 166.00 165.23 165.90	寄付 安値 高値 終値
07/06/19 (火)	東京のドル/円は強保ち合い。尾身発言を受けた円買いも見られたが续かず。123円台ではドル底堅い。欧米は前日に続き米住宅指標が悪化したことを受けてドル弱えない。ただ北朝鮮フクターが円高に歯止め。	・6月の独ZEW景況指数20.3 ・北朝鮮が短距離ミサイルを日本海に向けて発射 ・5月の米住宅着工件数147.4万戸	・尾身財務相「為替レートは注意深く見守っていきたい」 ・渡辺財務官「日本はキャリートレードを綿密に監視していく」 ・ラトIMF専務理事「米サブプライムローンのリスクは後退している」	123.63 123.71 123.32 123.33	165.87 166.12 165.31 165.60	寄付 安値 高値 終値
07/06/20 (水)	東京は小幅円高。日銀議事録などは予想通りで影響限定的ながら調整的な動きなどもあり円小高い。欧米は主要通貨は方向性乏しい。そうしたなか追加利上げ観測を受けたボンドが強含みに推移。	・5月日銀会合議事録発表 ・6月BOE議事録要旨発表、そのなかで5対4で金利据え置き決定、また総裁は利上げに投票明らかに ・スウェーデンが政策金利を0.25%引き上げ	・武蔵日銀副総裁「CPI、急激に上がらないが緩やかな上昇が展望できる」 ・米財務長官「中国は改革を促進させる必要」	123.43 123.68 123.10 123.57	165.70 166.02 165.20 165.63	寄付 安値 高値 終値
07/06/21 (木)	東京は米HFの損失を受けた米国への資金還流観測からドル小じっかり。貿易黒字の少なさもドル高寄与。欧米は揉み合い。米経済指標の内容などをにらみつつ一喜一憂で一方にハイス掛ける決め手欠く。	・5月の貿易収支3895億円 ・「アスターンズ」証券傘下のヘッジファンド2社で巨額損失発覚 ・5月の米景気先行指数0.3%、6月のFF連銀製造業景気指数18.0 ・台湾が0.25%の金利引き上げ	・呉中国人民銀副総裁「人民元の柔軟性を引き続き拡大」 ・スウェーデンECB専務理事「ユーロ高は好調な景気を反映」	123.56 123.75 123.47 123.72	165.56 165.75 165.36 165.65	寄付 安値 高値 終値
07/06/22 (金)	東京は月末に向けた外貨建て投信設定などに伴う円売りが増え円は一段安。一時124円台へ。欧米は米HF損失を嫌気した動きから株価が弱えず。それを受けてドルも連れ安推移となった。	・6月の独IFO景気指数107.0 ・「アスターンズ」証券が傘下のヘッジファンドに32億ドルの資金拠出発表 ・NZ/米ドルでNZ中銀による市場介入の噂あり	・ECB総裁「ECBは如何なる場合でも物価安定を明確化」 ・スイス中銀総裁「スイス経済は総じて良好」	123.78 124.14 123.75 123.90	165.74 166.94 165.70 166.88	寄付 安値 高値 終値
07/06/25 (月)	東京はBIS報告が早朝から噂となるも影響は限定的。むしろ需給要因などに押されて円は弱えない。欧米はNYダウが一時3ヶ台の上昇を示したことでドル買い優勢。しかし息切れするドルも徐々に弱含み。	・IFO「08年のユーロ/ドル予想は1.35ドル」 ・ハンガリーとルーマニアがともに政策金利を0.25%引き下げ ・5月の米中古住宅販売599万戸	・BIS年次報告書「円の価値が下がり続けたのは明らかに異常」(23日) ・藤井財務次官「為替相場は日ごろから注意深く見ている」 ・人民銀行総裁補佐「中国はドル準備を本格的に減らす可能性低い」	123.83 123.95 123.31 123.65	166.72 166.90 165.93 166.47	寄付 安値 高値 終値
07/06/26 (火)	東京は日経金融の報道に尾身発言が加わったことで円買い優勢。ドル/円は123円前半に下落。欧米は韓国などからの円安リスクを指摘する声が増えドルは続伸。しかし勢い続かず、シワと円安へ。	・日経金融新聞「円安懸念、通貨当局に台頭」 ・5月の米新規住宅販売91.5万戸、6月の消費者信頼感指数103.9、同リッチモンド連銀製造業指数4 ・米SECがCDO巡る調査開始	・尾身財務相「一方に偏って行動するリスクを認識すべき」 ・韓国、NZ当局「円キャリー資産の手仕舞いは国際金融市場に対する大きな脅威」	123.56 123.63 122.81 123.25	166.35 166.44 165.10 165.82	寄付 安値 高値 終値
07/06/27 (水)	東京は円キャリートレードの巻き戻しが活発となり円独歩高。対ドルもさることながら対ユーロでは円急騰。欧米は円続伸で始まるも续かず。外貨建て投信の設定に絡む動きなどから徐々に円売り優勢に。	・北朝鮮が午前中に日本海に向けて短距離ミサイル発射との一部報道 ・ノルウェーが政策金利を25BP引き上げ ・5月の米耐久財受注▲2.8%	・NZ中銀副総裁「市場介入は進行中のプロセス」 ・オーストラリア中銀総裁「金利は引き続き緩和的」 ・米財務長官「米国は堅調な経済ファンダメンタルズを持つ」	122.95 123.20 122.23 122.84	165.37 165.65 164.24 165.25	寄付 安値 高値 終値
07/06/28 (木)	東京は鉱工業生産悪化に加え、一部報道での外準多様化報道から円が弱えない。ただドル高も限定的。欧米はFOMC声明が予想よりも強いものとなったことでドル小じっかり。ただ全般的には上げ波りの感も。	・5月鉱工業生産▲0.4% ・宮沢喜一氏死去 ・FOMCで金利据え置き決定 ・第1四半期米GDP確定値0.7%、同個人消費確定値4.2%、同コアPCE確定値2.4%	・一部通信社「財務省が外貨準備の運用多様化を検討」(のちに当局が否定) ・FOMC声明「金融政策は指標次第」(全体的にタカ派色強い)	123.29 123.32 122.79 123.18	165.89 165.94 165.23 165.65	寄付 安値 高値 終値
07/06/29 (金)	東京は月末外貨需要の噂などもありドル小高い。物価指標が低めの数字になったことも嫌気された。欧米は米経済指標は強弱混じるなか地政学リスクの高まりもありドル買いにくい。賃への逃避でスイス堅調裡。	・5月の米個人所得0.4%、同PCE0.5%、同コアPCE価格指数0.1%、同建設支出0.9%、6月のシカゴ購買部協会指数60.2%、同ミシガン消費者信頼感指数確報値85.3	・尾身財務相「外準の運用は安全性と流動性を確保すべき」 ・5月の消費者物価指数0.0%、同完全失業率3.8% ・ロンドンで大掛かりな爆発物発見される、地政学リスク高まる	123.21 123.56 122.96 123.17	165.57 166.94 165.47 166.80	寄付 安値 高値 終値

*製作・著作；「FXニュースレター」

URL； <http://www.fx-newsletter.com/>